

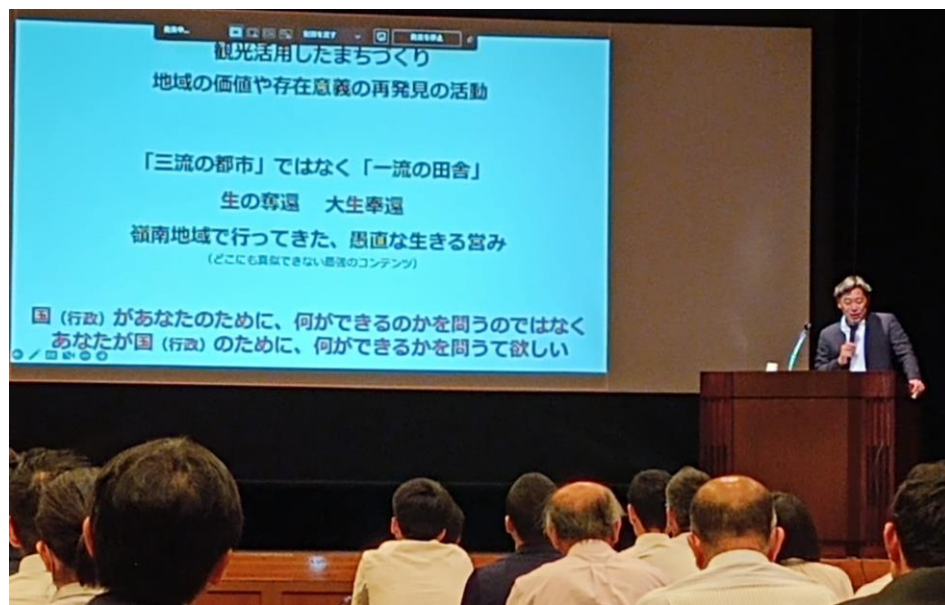
「稼ぐ観光地づくり」に向けた講演会



令和5年7月18日 11:00～12:00

福井県観光連盟の佐竹マネージャーを講師に、「北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた稼ぐ観光地づくり」と題した講演会を開催しました。

現地とオンラインで約100名の方にご参加いただき、データをもとに嶺南の観光の現状と今後求められる取り組みについて学びました。



講演では福井県観光データ分析システム「FTAS」を用いて、嶺南の観光客の属性や、今後何に力を入れるべきか等についてお話しいただきました。

参加された方からは「観光業、サービス業の方向性が知れてよかった」や「もう少し時間をかけてお話を聞きたいくらい面白かった」といった感想が寄せられ、学びの多い講演会となりました。

🔍 「FTAS」はこちらから

https://www.fuku-e.com/feature/detail_266.html

「稼ぐ観光地づくり」に向けた講演会



アンケートにて寄せられた質問に佐竹マネージャーよりお答えいただきました！

Q 地元観光サイトを作るのとGoogle mapを充実させるのとどちらの優先度が高いですか？

A どちらを優先するべきか？を、時間軸で**短期的に**でお答えすると、既に観光客はある程度入ってきており、**Googlemapの充実を優先するべき**と考えます。

一方で、**中長期で考えると**基本情報としてのデータベースはしっかりと、「ふくいドットコム」とのAPI連携で**地元観光サイトで構築していく必要があります**。

Q 首都圏へのPRが中心になりがちと感じる。1人あたりの落とす金額は首都圏が高いかもしれないが、一過性に終わる懸念も。長期的・安定的な関係を築くには、まず「地元や近場の人々が愛し、残したいと思う場所」を目指す必要があると考える。

A **とても大切な視点**だと思います。まずは、**今来てくれている人たちが、いかに満足して帰っていただくか？が最重要**だと考えます。それが、口コミというPRに繋がって、リピーターや誘客、さらには移住までつなげていける可能性が出てくると考えます。

一方で、**直近のPRは、新幹線開業というもう2度とない機会を捉えて最大化する**という事で、**首都圏PRはしておく必要がある**とも考えます。